



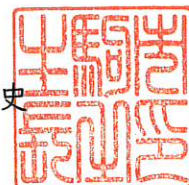
生防第427号

令和3年8月23日

奈良県知事

荒井 正吾 様

生駒市長 小紫 雅史



緊急事態宣言発出の要請等に関する要望書

平素は、新型コロナウイルス感染症に関する様々なご対応及び各市町村に対するご支援等をいただき、御礼申し上げます。

さて、去る8月17日政府は、1都5府県を対象とする8月31日までの緊急事態宣言について、期間を9月12日まで延長するとともに、新たに7府県を加えて1都2府10県としました。また、まん延防止等重点措置についても期間を同様に延長するとともに、対象が5道府県から16道府県と拡大されました。これにより現在、全国47都道府県中、実に過半数の29都道府県までに緊急事態宣言またはまん延防止等重点措置が適用されている状況になっています。

そのような中、22日には奈良県内の新規感染者が200人を超え、療養者の総数も併せて、緊急事態宣言相当とされるステージ4の水準の3倍を超える状態となっています。ワクチンの効果からか重症病床使用率は落ち着いていますが、軽症者の受け入れは滞りつつあり、入院・入所待機中の方は661人となっていて家庭内感染が増加するなど、危機

的な状況が継続しています。

本市においても、直近1週間の人口10万人当たりの新規感染者数は98.3人と、ステージ4の水準の3倍を超えています。

これを受け、本市としても独自の「感染拡大緊急警報」の発令を継続し引き続き、市民や事業者に対する呼びかけや各種支援を講じているほか、県からの要請に応じて生駒市立病院の新型コロナウイルス感染症対応病床を増床するなど、市としてできることは可能な限り対応しているところですが、感染は一向に沈静化の兆しを見せず、むしろ加速度的に悪化している状況です。

一方、市内の飲食店事業者などからは、「(県及び本市において緊急事態宣言、まん延防止等重点措置などの適用もされておらず、飲食店が通常通り営業されていることから)緊急事態宣言等が適用されている大阪府などからの夜間の来客が実際に増加している」との声が聞かれ、これが本市や県における感染者の急増の一因になっているのではないかと、ひいては大阪における取り組みの足をも引っ張っているのではないかと心配されます。

これに対し県におかれては、去る8月11日に実施された記者会見において、第4波の対応実績の分析から「時短要請の有無による顕著な差は見いだせなかった」とされており、本県における緊急事態宣言やまん延防止措置の適用等の飲食店への時短要請等の実施に否定的な考えをお持ちと思いますが、時短要請を行った地域とそうでなかった地域の間の感染者の減少に約1割の差が生じたことは無視し得るものではないと考えます。

これらのことから、感染者の増加の一刻も早い鎮静化を図るとともに、医療体制の逼迫に伴い増加する入院・入所待機者や自宅療養者の支援に万全を期すため、以下の二点に関

し、ぜひご対応くださいますようお願い申し上げます。

<国に対する緊急事態宣言の要請等>

本県に緊急事態宣言もまん延防止等重点措置も適用されていないことは、どれだけ県や本市が県民・市民にメッセージを発信しても、「奈良県はまだ比較的安全である」との誤った印象を大阪を含む他地域の住民に与え、不要不急の来県者を招いてしまいます。

一方、本県においては従来これらの適用が見送られてきたことから、その人流抑制効果が薄れてきている他府県とは違い、これを初めて適用することで県民全体に強い心理的インパクトを与え、一定期間大きな効果を発揮することが期待できるものと考えます。

さらなる感染拡大を抑止し、事態を好転させるためには、府県の境を越えて「大阪圏」「近畿圏」として一丸となって、県と市町村をはじめとするあらゆる主体ができる限りの取り組みを協力して進めていくことが重要と考えます。このため政府に対して、新型インフルエンザ特別措置法第 32 条第 1 項に基づく緊急事態宣言を、「緊急事態措置を実施すべき区域」に奈良県を加えて発出するよう要請していただき、本市に対して緊急事態措置を講じていただきたく要望します。

<入院・入所待機者に関する感染者等に関する情報の市町村への提供、連携の促進>

増加する入院・入所待機者や自宅療養を余儀なくされている方々に対し、本市としても買い物支援や家庭内における感染拡大防止資材の提供、パルスオキシメーターの貸し出し等の支援策を講じており、その周知も行ってはいますが、推定される市内の入院・入所待機

者や自宅療養者数に比べて、実際のその利用はわずかな件数に留まっています。

このため、これらお困りの市民の方々に対し、市から積極的に働きかけて必要な支援を実施していくために必要な情報の提供、本市担当部局と担当保健所との連携の促進を図っていただきたく要望します。

更なる感染拡大に対し一刻も早く効果的な対策を講じ、事態の好転を図るため、ご支援・ご協力のほどを宜しくお願いいたします。